令和7年度島根県立大学人間文化学部 学校推薦型・総合型選抜 社会人・学士 帰国生 私費外国人留学生特別選抜 地域文化学科 小論文問題

【問題】次の文章を読み、あとの問いに答えよ。

言語による認識の違い(あるいはズレ、歪み)を理解することは、外国語を学ぶ上でとても大事なことである。鈴木孝夫氏は、『日本語と外国語』の中で、以下のようなエピソードを書いておられる。鈴木氏は、英語の orange という色のことばを日本語の「オレンジ色」と思い込んでいた。その結果、レンタカーを借りたとき、orange car が来る、と言われ、ずっと待っていたのにいくら待っても車は来ない。かわりにこちらの様子をうかがっている茶色(と鈴木氏には思われた)の車がホテルの前に停まっていた。それが、鈴木氏が待っていた車だったのだ。鈴木氏が運転手に「『オレンジ色の車』と言われたからオレンジ色の車を探していたのだ」と言ったところ、「これがオレンジ色の車ではないか」と言い返されて、はじめて英語話者の意味する orange と私たち日本語話者の意味する「オレンジ色」には認識にズレがあるということに気がついた。

鈴木氏のような英語の達人にして、様々な言語を比較分析することを専門とされている人でさえ、一見、母語と外国語の間で対応するように思われることばが存在すると、二つのことばの指す範囲、つまりカテゴリーの境界が同じであるかのように思い込んでしまうことを、このエピソードは如実に示している。私たちの認識は母語のフィルターを通した認識であり、別の言語のフィルターを通した認識は自分の認識とズレているかもしれない、ということを理解することはとても重要なことであるが、実際には、これはそんなに容易なことではない。私たちの認識は言語と切り離せない関係にあり、母語での世界の切り分け方があまりにも自然に思えるので、その切り分け方が唯一無二の切り分け方ではないことになかなか気がつかないのである。

実際、言語による世界の切り分け方の差異に気づかず、自分の認識が世界の標準だと思い込むと、外国語のことばの意味を「正しく」理解することを著しく妨げる。(ここで「正しく」というのはその外国語を母語とする人たちが持つことばの意味を共有する、ということである。)

例えば、「モノを持つ」に関係した中国語の動詞群を、日本語を母語とする人たちがどのように学習しているか、筆者は学生の佐治伸郎さんといっしょに調べてみた。すると、学習者は日本語が区別する「抱える」「背負う」「担ぐ」に対応することばは覚えていたが、日本ではすべて「持つ」としか言わない、手で持つ持ち方を表す一連の動詞(両手で容器の上から持つ、手を上にして手のひらを支えにして持つ、片手を下にしてモノをぶら下げて持つ、片手を上にして指で持つ)に対応する動詞はほとんど覚えず、全部「拿」という比較的意味の広い動詞ですべて代用していた。学習者は母語で区別しない切り分けに対して、それが中国語で重要な区別であるにもかかわらず、その重要性に気づかないため、母語話者がその状況で使うことばに注意を向けず、一見対応しそうに見えることばを、過剰に使い続けてしまうのだ。

実際、学習者の動詞の使い分けのレベルは中国人三歳児と同じくらいだった。しかし、中

国人の子どもは、その後、着実に大人の使い分けに近づいていくのに対し、学習者は、学習 年数が増えても、中国人三歳児のレベルに留まり続けていたのである。

私たちが英語を学ぶときも同じことがいえそうだ。日本語で「歩く」という動詞でしか表せない人の動きに対して、英語では、非常に細かく動詞を使い分ける。実際、語同士の相互の関係を表す"WordNet"という検索システムでは、walkの下位分類として、80ほどの動詞が挙げられていた。個人的な経験の話で恐縮だが、筆者はこれらの様々な歩き方に使われる動詞を覚えるのに非常に苦労し、いまでも数個の動詞しか思い出すことができない。これは、これらの動詞が使われるのを聞く度に、「よちよち歩く」(waddle)、「よろめきながら歩く」(stagger)など、無意識に日本語に直してしまい、日本語に直した時点で、「歩く」としてしか記憶に残らないせいではないかと思う。

外国語を学習するとき、外国語での世界の切り分け方は母語の切り分け方とちがい、それが認識の違いにつながる、ということを知り、認識の違いを理解してギャップを調整することは、とても大事なことなのである。

出典: 今井むつみ『ことばと思考』岩波書店、2010年(一部改変)

- 問1 下線部「私たちが英語を学ぶときも同じことがいえそうだ」について、どこが同じだと言えるのか。150字以内で説明せよ。
- 問2 本書の別の箇所で、今井氏は、「異なる言語の話者はどこまで深く、相互に理解しあ えるのだろうか」と問うている。この問いに対するあなたの考えを、<u>具体的な例を挙</u> <u>げ、問題文への考察を加えながら</u>、800字以内で述べよ。

なお、英単語を用いる場合は、アルファベット大文字は1字につき1マスを、小文字・スペース・記号は半マス(2字分につき1マス)を使用せよ。